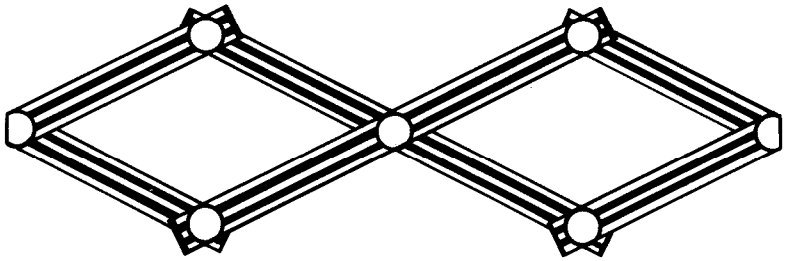
新日軽伸縮門扉

取説番号 NM－498
改2



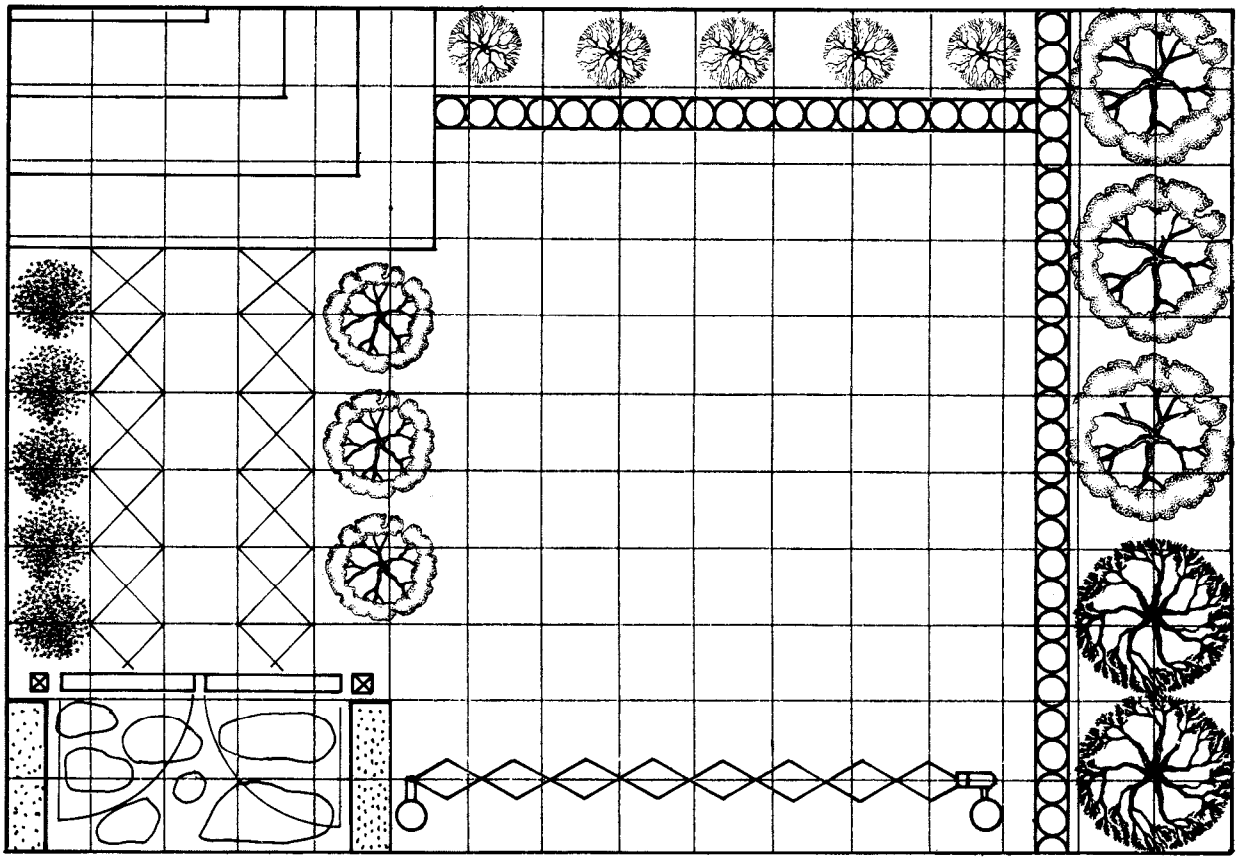
カーゲート26型

キャスター式

取付取扱説明書

■新日軽伸縮門扉《カーゲート26型》キャスター式をお買上げいただきありがとうございました。

末永くご使用いただくため取付取扱い説明書をよく読んでいただき正しい施工・正しい取扱いをお願いいたします。



新日軽株式会社

■ お客様へ　　取扱いの手引

■《カーゲート26型》キャスター式をお買い上げいただきましてありがとうございました。
いつまでもご使用いただくため、下記の事項にご留意くださいますようお願いいたします。

1 この《カーゲート26型》キャスター式はアルミ製ですが、いつまでもきれいに気持よくご使用いただくため時々、布で表面の汚れを拭き取って下さい。

2 キャスターの走行をよりスムーズにするため回転部の車軸部に適時、注油して下さい。

3 子供などのいたずらで扉に乗って走行させるなど無理な使い方をしますと故障の原因ともなりかねませんのでご注意下さい。

4 《カーゲート26型》キャスター式には落し錠受けがついていますので、扉を開いた時も、閉じた時も、必ず落し錠をお使いください。

■施工店名

切り取り線

■ 注意事項

新日軽のアルミ製品はＪＩＳの表面処理規定を十分クリヤーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

①モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。

②モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。
抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。

③モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシュウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。

④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。

⑤アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。
接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。

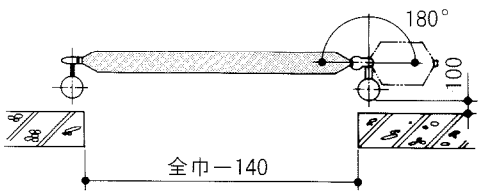
⑥腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

■《カーゲート26型》キャスター式施工納まり図

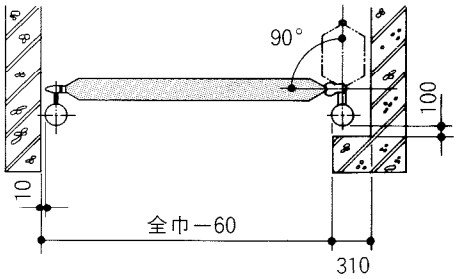
■ 下図に示した以外の納まりの場合などは下図の納まりの組合せによって施工して下さい。

■ 片開き納まり

塀と平行になる場合

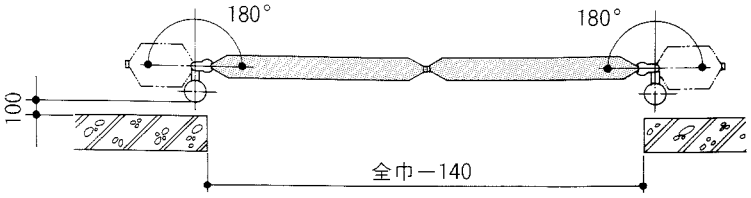


塀と直角になる場合

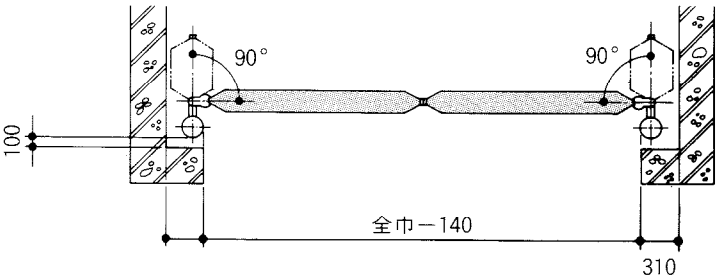


■ 両開き納まり

塀と平行になる場合

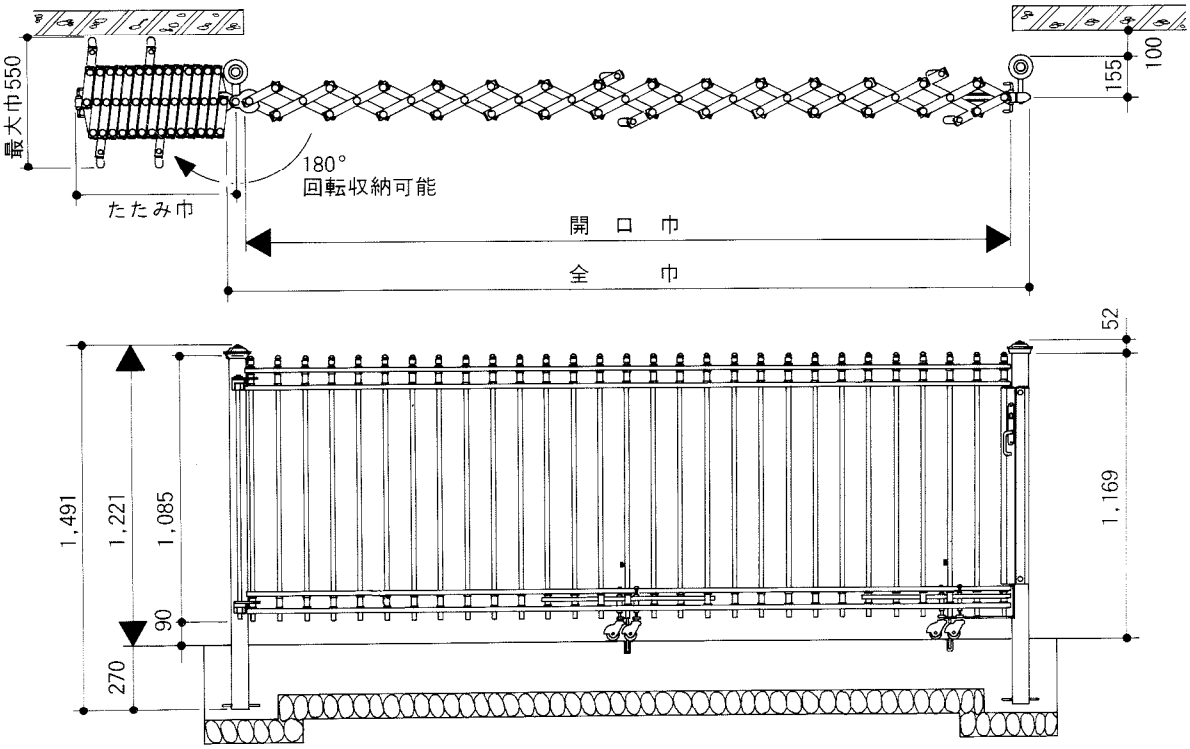


塀と直角になる場合

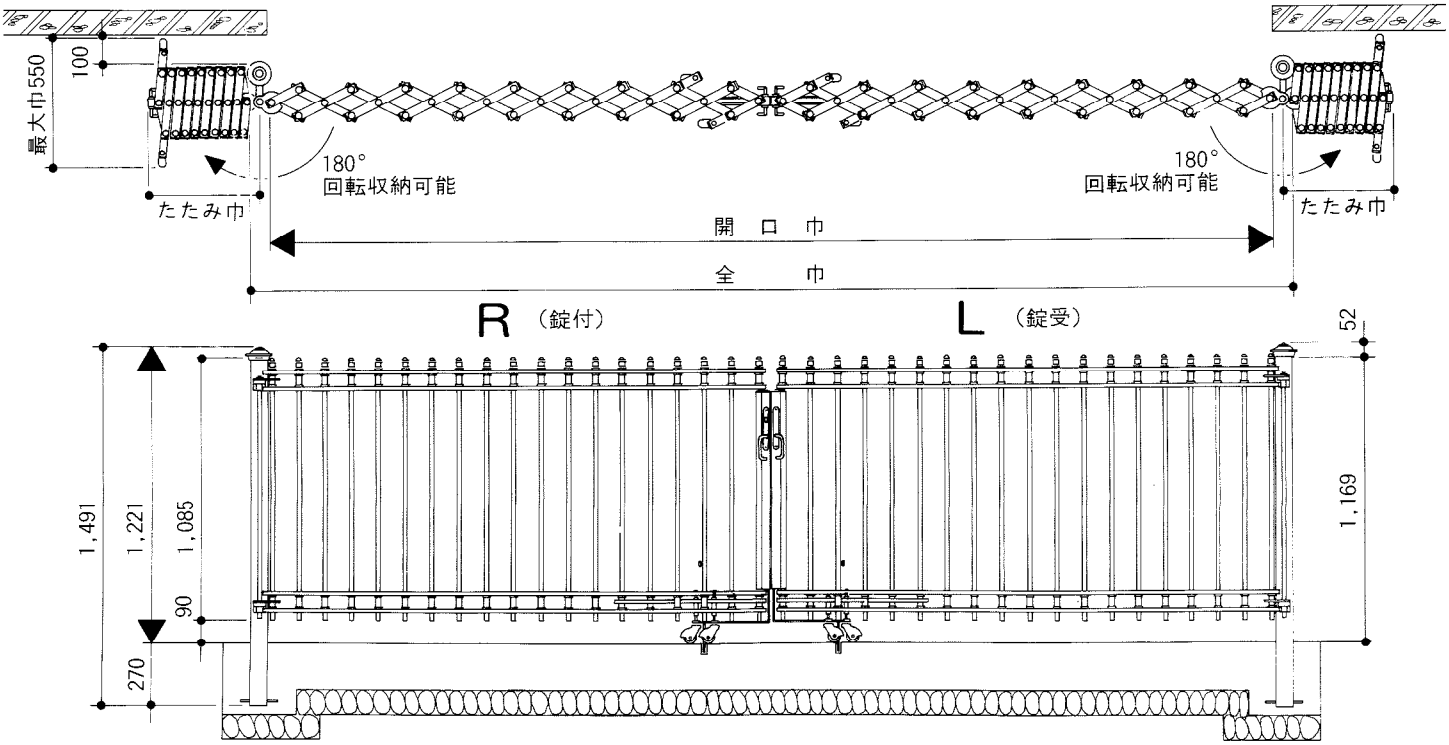


本体図

片開き


最大巾550
100
155
180°
回転収納可能
たたみ巾
開　口　巾
全　　巾
52
1,491
1,221
1,085
1,169
90
270

両開き


最大巾550
100
180°
回転収納可能
たたみ巾
180°
回転収納可能
たたみ巾
開　口　巾
全　　巾
R（錠付）
L（錠受）
52
1,491
1,221
1,085
1,169
90
270

■ 仕様・部品明細

形式		全巾 ㎜	開口巾 ㎜	たたみ巾 ㎜
M26A（コハク）	170S	1,720	1,580	360
	210S	2,160	2,020	430
	260S	2,600	2,460	505
	300S	3,040	2,900	580
M26HA（ホワイト）	340S	3,480	3,340	655
	390S	3,920	3,780	730
	430S	4,360	4,220	805
	480S	4,800	4,660	880
M26SA（セピアブラック）	370R/L	3,780	3,640	395×2
	460R/L	4,660	4,520	470×2
	510R/L	5,100	4,960	505×2
	590R/L	5,980	5,840	580×2

■ 部品明細

■片開き門柱（MCAP 12S）　■両開き門柱（MCAP 12W）
〃（MHAP 12S）　〃（MHAP 12W）
〃（MSAP 12S）　〃（MSAP 12W）

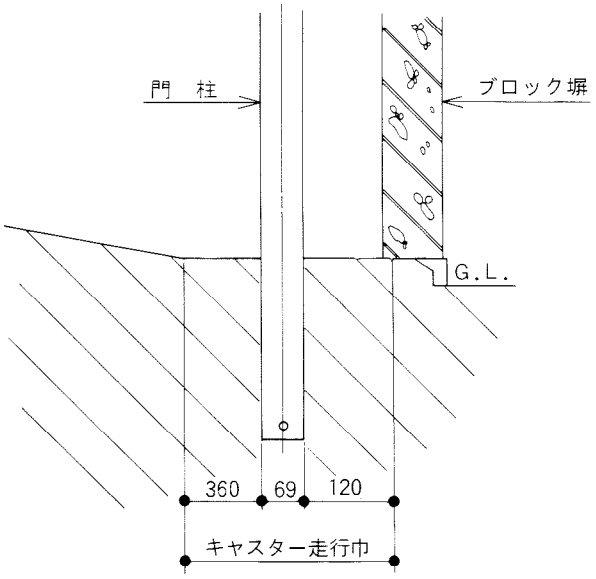
両開きはR（錠付）に部品がまとめて入っております。

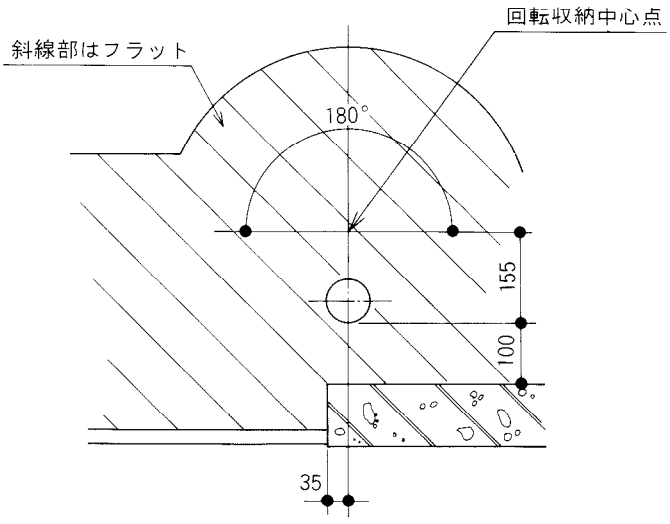
名称	略図	片開き								両開き			
		170S	210S	260S	300S	340S	390S	430S	480S	370R	460R	510R	590R
落し錠受け		2	2	3	3	3	3	4	4	4	4	6	6

名称	略図	片開き	両開き
吊り元門柱		1	2
戸当り門柱		1	—
アンカー棒 ø9×150ℓ		2	2
クッションゴム		2	4

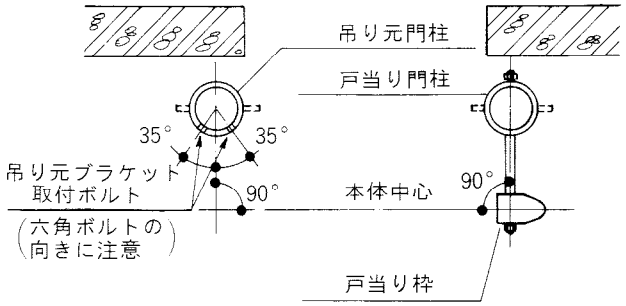
1 はじめに

■ 床面の仕上げは本体走行上キャスターの走行巾分はフラットに仕上げて下さい。開けた時本体を回転させる場合は回転半径（本体の縮巾）も考慮に入れて仕上げて下さい。



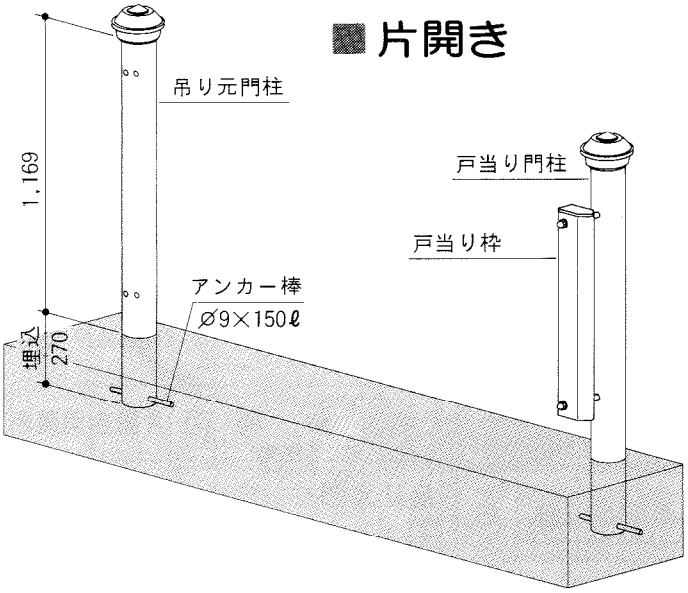


2 門柱の取付方法

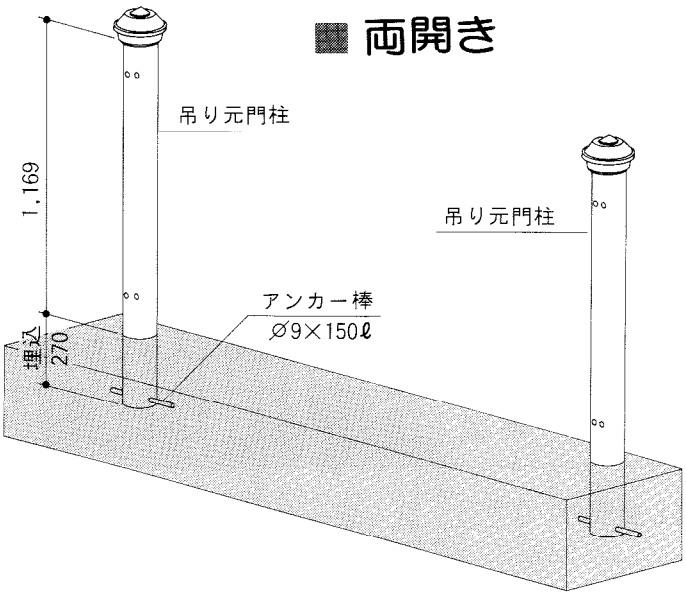


■ 門柱埋込位置は、施工納まり図を参照して下さい。
門柱は垂直に埋込んで下さい。
戸当り門柱・吊り元門柱の穴の向きは左図を参考に埋め込んでください。

■ 片開き

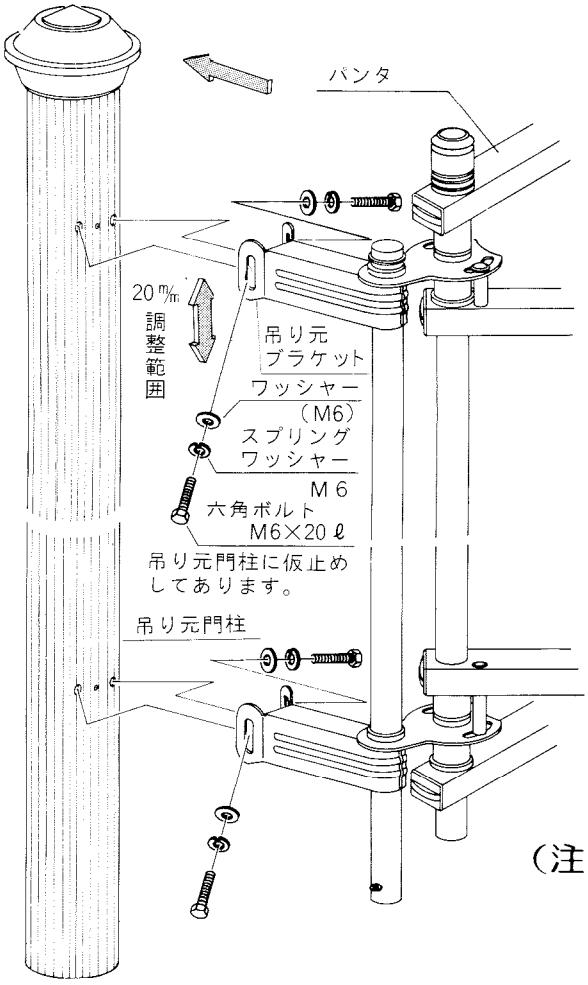


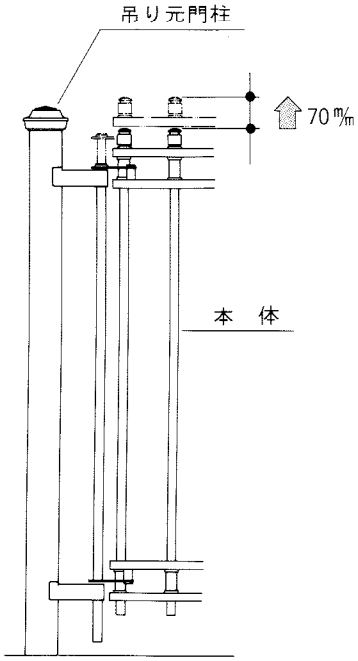
■ 両開き



3 本体の取付方法

《片・両　開　き》





■ 本体の取付けは左図のようにパンタが水平になるように六角ボルトで固定して下さい。
（上・下２ケ所）

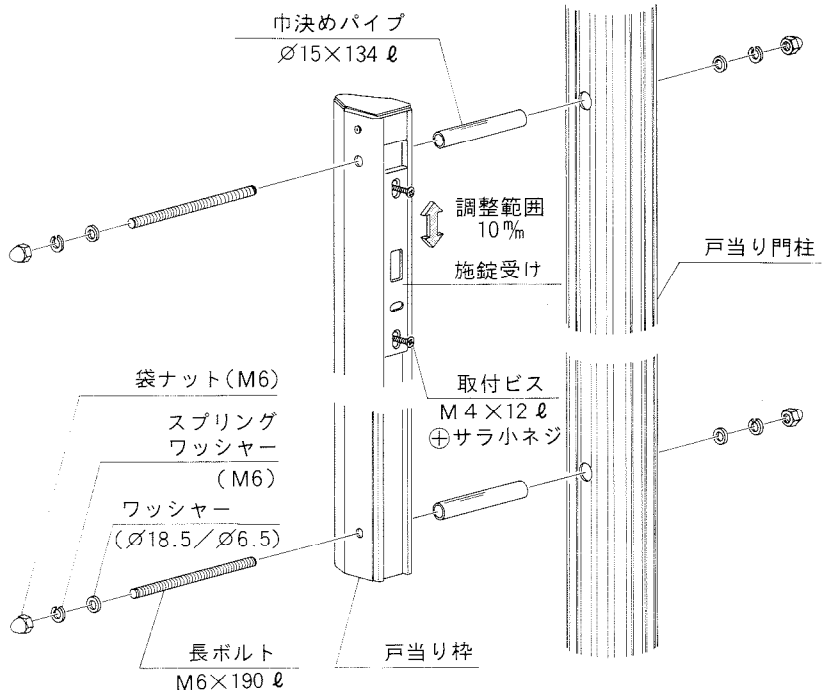
水はけ等で勾配をつけられる場合も回転収納と同時に門扉本体が70㎜までスライド可能な方法にしてあります。

（注）クッションゴムは開閉時、吊り元門柱とパンタの接触する部分のパンタに貼り付けて下さい。

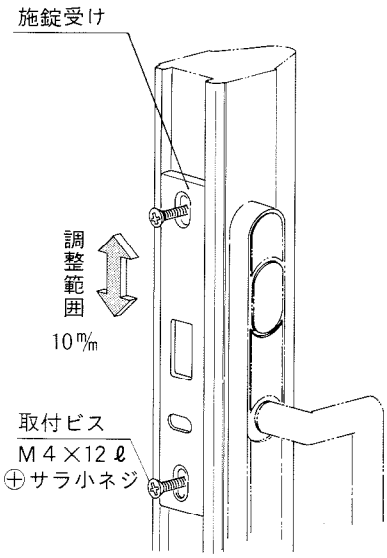
4 戸当り枠の取替方法・施錠受けの高さ調整《片・両開き》

■ 戸当り門柱が施工納まり図と逆になる場合は、下図左側の図のように戸当り枠を裏表入れ替えて下さい。
施錠受けの高さ調整は扉を閉め施錠の位置を確認し施錠受けを調整し取付ビスで固定してください。

■ 片開き



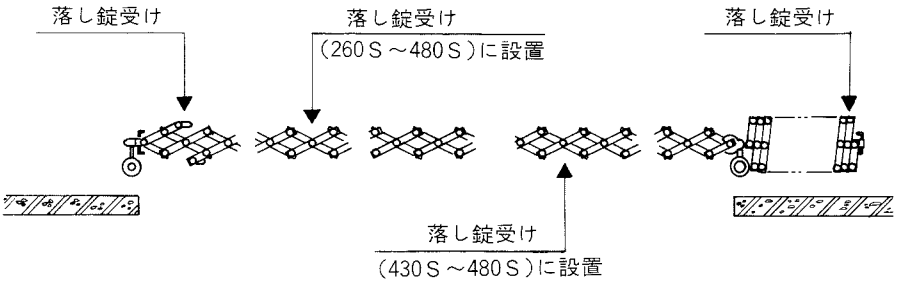
■ 両開き



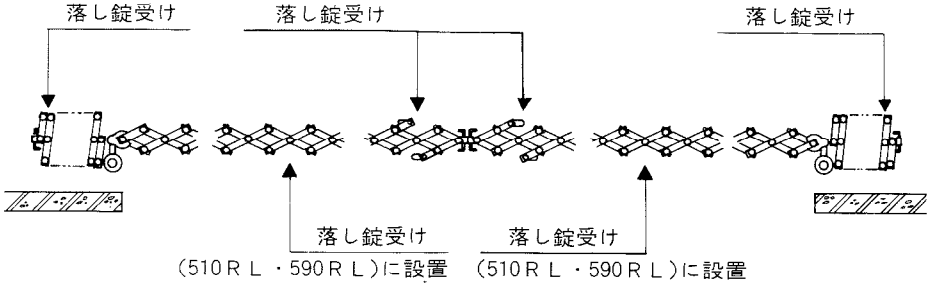
5 落し錠受けの設置

■ 片開き

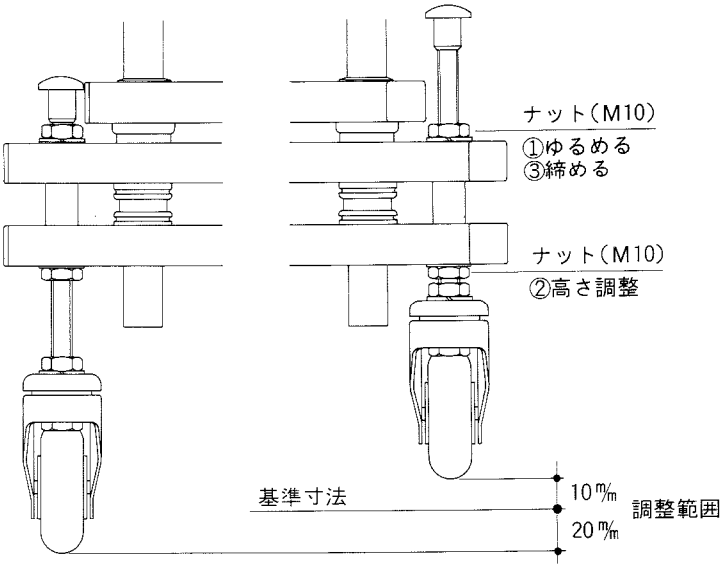
■ 落し錠受けの位置は左図を参照し現物合せで施工する様にして下さい。



■ 両開き



⑥ キャスターの高さ調整



■ 水はけの勾配等高さの調整が必要な場合は左図のようにキャスターで30㎜まで調整出来ます。
調整方法は図中の番号順にしたがって調整して下さい。

■ おわりに

■ 以上で取付は完了ですが、お客様に正しく取扱っていただくために表紙裏に取扱いの手引きの欄を設けてありますので施工完了後は、表紙の頁は切り離してお客様にお渡し下さい。